

こんにちは 森林官です!

日高南部森林管理署
御園西森林事務所
森林官
(御園西担当区)
古里 優太



御園西森林事務所は、新ひだか町の2級河川、静内川の支流である春別川流域・日高山脈西側中央部の約14,000ヘクタールを管轄しています。御園西森林事務所には私を含めて職員4名、非常勤職員1名が在籍しています。



イドンナップ岳

新ひだか町

町の観光スポットは、日本一と称される桜並木「二十間道路桜並木」です。約3,000本の桜が直線7キロメートルに渡って咲き誇ることで有名で、毎年5月上旬にはあでやかに咲き誇る日本一の桜並木をひと目見ようと全国各地から花見客が訪れます。基幹産業は酪農・漁業

(三石コンブ)が中心です。その他に競走馬の育成・生産も盛んで、多くの競走馬を輩出しています。森林事務所の近くにも牧場があり、格好の良いサラブレッドが見られます。

日高電源開発

静内川と新冠町の新冠川、日高町の沙流川、占冠村の双珠別川などの各河川には水力発電用のダムがあります。

それぞれのダムは山を貫通している水路トンネルでつながっていて、水量を調整して効率的な水力発電ができるようになっており、地域の重要な電力供給源となっています。



送水トンネル

工事は昭和30〜60年にかけて完成しましたが、

着工時はまだ道路もなく、奥地山岳地帯の調査・開発は難航を極めたそうです。当事務所の部内にもダムや水路トンネルがあり、工事の規模の大きさを垣間見ることが出来ます。

森林官の仕事

森林事務所の主な仕事は地況・林況調査で、今後どのように伐採・更新していくかの指標になります。

管内の人工林造成は昭和30年代から始まっており、その頃の造林地が現在、主伐・再造林の時期を迎えています。

先人達が長い時間をかけて育ててきた木々を伐採して有効活用し、造林し、後世に豊かな森林を残すことが重要な使命だと思っています。

また、この日高山脈には希少野生生物や日高山脈固有の植物などが見られますが、このような素晴らしい自然環境を守っていくことも、重要な使命です。

終わりに

普段の生活の中で森林の恩恵を感じることは少ないかもしれませんが、森林には木材資源としての価値の他に、水を貯える働き、山が崩れるのを防ぐ働きと、動植物の生息地としての役割があり、人間にとっても、そこに生息する動植物にとっても大切なものです。

森林を育てるのには長い時間がかかります。

また、生き物相手なので、画一的に同じ方法で施業をしても、同じように成長するとは限りません。そこに森林施業の難しさがあります。

日々、山を見る目を養って、良い山づくりの突破口となるべく研鑽していきたいと思えます。



ソラチコザクラ